

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	補聴器		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 木3・4	教室名	603
担 当 教 員	小濱久美	実務経験と その関連資格	大病院で聴覚検査全般、補聴器・人工聴覚器リハビリテーションに関わっていた			
《授業科目における学習内容》						
補聴器をとりまく現況、基本的構造、種類、機能、フィッティング、評価方法、リハビリテーション、最新の補聴支援システム等について学び、言語聴覚士としての技量を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
聴覚障害学第2版(医学書院) 言語聴覚士に貯めの聴覚障害学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
配布資料による復習						
《履修に当たっての留意点》						
聴覚分野に興味がなく他分野に進むとしても、STがリハビリテーションを行うに際し高齢者との関わりは避けられず、おのずと難聴や補聴器に関する知識が必要となることを肝に銘じ受講してほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本における補聴器の現況について理解する	配布資料	まとめ	
		各コマにおける授業予定	日本における補聴器の現況			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の基本的構造、種類、機能について理解する	配布資料、補聴器デモ機	まとめ	
		各コマにおける授業予定	補聴器の歴史と基本的構造と種類、機能			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の音響特性の見方と音響測定方法について理解する	配布資料	まとめ	
		各コマにおける授業予定	補聴器の音響特性の見方と音響測定方法			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器の周波数特性などの測定方法について理解する	配布資料	まとめ	
		各コマにおける授業予定	補聴器の周波数特性などの測定方法			
第5回		授業を通じての到達目標	補聴器フィッティング方法について理解する	配布資料	まとめ	
		各コマにおける授業予定	補聴器フィッティング方法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器適合検査について理解する	配布資料	まとめ
		各コマにおける授業予定	補聴器適合検査		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	補聴器リハビリテーションと補聴支援システムについて理解する	配布資料	まとめ
		各コマにおける授業予定	補聴器リハビリテーションと補聴支援システム		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳型採取について理解し、自ら考え聴覚分野全般(補聴器や難聴など何でも良い)に関連する疑問がうまれ質問できる	配布資料、耳型採取用具一式、イヤーマールド	まとめ
		各コマにおける授業予定	耳型採取、補聴器Q&A		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			